



れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp> / 発行日 2010年12月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

ちょっと自慢



本誌10月号のクリニカルパス委員会からの記事に済生会熊本病院院長の副島秀久先生の特別講演が紹介されていました。急性期病院トップランクの病院長の講演は非常に刺激的でした。当院は平成20年7月1日から診断群分類であるDPC (Diagnosis Procedure Combination) を用いた包括支払い制度の対象病院になっています。DPCに基づいた診療報酬額は包括評価部分と出来高部分から構成されています。包括評価部分とは、ホスピタルフィー的な要素で、DPCごとに定められた1日当たり点数が決まっており、さらに医療機関別係数によって調整をする、という仕組みになっています。したがって、包括範囲の点数は、DPCごとの1日当たり点数×医療機関別係数×在院日数、となります。これに、ドクターフィー的な要素の出来高払い部分を加えて、月々の請求を行っています。

DPC対象病院は平成22年7月1日から1391病院となり一般病院7714病院の18.0%、その病床数は45万8707床で一般病床90万9437床の50.4%となり、DPC病床数が一般病床数の半数を超えることとなりました。

DPC制度導入期にインセンティブを与えるため従来の出来高払いでの診療報酬を担保する調整係数が設定されていますが、上記のようにすでに制度が定着したことから調整係数を段階的に廃止して別の病院別係数に引き変えるという改訂がなされています。その中で注目を集めているのが機能係数です。機能係数が箱物に対する評価であるのに対して機能係数は実際に行われた診療行為に基づく評価項目が多く、「病院の総合力」を計る指標と見なす人もいます。昨今の病院ランキング流行で、機能評価ランキングも出ており、前述の済生会熊本病院は機能評価が全国トップで、当院は全国237位でした。1391病院中237位は結構良い位置ではないでしょうか？ちなみに北陸三県で全国500位以内の病院の順位を並べると、当院は3県立中央病院と福井赤十字病院に次ぐ5番目でした。県下で2番目は県都の市立病院としては当然の評価と、ちょっと自慢してもよいのかなと思います。

Contents

ちょっと自慢	1
研修・講演・勉強会のご案内	2.3
12月の地域連携・開放型病床症例検討会報告	3
診療所・病院・施設訪問	4
平成22年度第2回骨折ネットワークとやまの報告	5
病理解剖物故者慰霊祭が執り行われました	5
地域連携開放型病床講演会・懇親会のご案内	5
がん地域連携クリティカルパス	6
ふれあい地域医療センターからのお知らせ	6
「寝たきりの方への口腔ケア」を開催して	7
「第1回心臓病教室」を開催して	7
医師不在のお知らせ	7
認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ	8
編集後記	8

順位	県	病 院	順位	県	病 院
1	熊本	済生会熊本病院	319	福井	公的病院
100	石川	石川県立中央病院	341	石川	自治体病院
115	富山	富山県立中央病院	355	富山	公的病院
122	福井	福井県立病院	395	富山	公的病院
233	福井	福井赤十字病院	420	富山	公的病院
237	富山	富山市民病院	451	福井	自治体病院
247	富山	自治体病院	465	富山	自治体病院

1. 地域連携・開放型病床症例検討会

1月 日時：1月11日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂
ミニレクチャー：「高齢者と慢性腎臓病」



腎高血圧内科 大田 聡

慢性腎臓病(CKD)の危険因子の一つに高齢が挙げられます。実際65歳以上の高齢者の30～40%と高頻度にCKDが合併することが報告され、その背景には、40歳を過ぎて始まる生理的な腎機能の低下に加えて、高血圧などのCKDの基礎疾患が高齢になるほど合併しやすくなるのが関与しているものと思われます。また、高齢者では腎硬化症、腎動脈狭窄症などの腎血管系の異常を主体とする腎疾患も比較的多くみられますが、これらは一般に進行速度が緩やかで、生涯にわたり腎不全に至らない例もしばしば見受けられます。しかし、一部には進

行性で、早期治療が重要な疾患も含まれ、その代表的疾患として抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎症候群が挙げられます。

本疾患の日常診療における早期診断のポイントについて、自験例も含めて提示させていただき、また、高齢者CKDの日常診療における留意点、腎専門医への紹介のタイミングについても説明させていただきます。また、最近立ち上がった富山医療圏共通の『とやまCKD地域連携パス』についてもご説明します。

症例検討

1) 胸腔鏡検査が診断に有用であった胸膜中皮腫の一例（85歳 男性）

紹介医：城石内科クリニック 城石 平一医師 呼吸器内科 石浦 嘉久

2) 化膿性肩関節炎（77歳 男性）

整形外科 伊藤 貴明

2月 日時：2月8日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂
ミニレクチャー：「側頸部まで気腫を生じた咽頭外傷の一例」耳鼻咽喉科 加勢 満

2. 内科CPC

1月の開催はありません。



3. とやまレントゲン読影会

1月の開催はありません。



4. 糖尿病研究会定例学習会

日時：1月6日（木）17：30～18：30

場所：3階 医局カンファレンス室

テーマ 「妊娠糖尿病とインスリンポンプについて」

講師 糖尿病看護エキスパートナース
副看護師長 二口 勝美



6. 第3回ブレストケア（乳がん）勉強会

日時：1月20日（木）18：00～19：00

場所：1階 デイケア

テーマ 「乳がん術後、リンパ浮腫ケアについて」

- ・リンパ浮腫の病態、ケア
- ・複合的理学療法

圧迫療法の実演も行います。

講師 日本医療リンパドレナージ協会認定セラピスト

看護師 小森 奈緒

今回は、乳がん術後、リンパ浮腫ケアについて講演を企画しました。

興味のある方はお気軽に参加してください。



5. 緩和医療委員会学習会

日時：1月11日（火）18：00～19：00

場所：集団指導室

テーマ 「口腔ケア」

講師 緩和ケアエキスパートナース
主看護師 島 佳子



7 . 褥瘡対策学習会

日時：1月28日（金）17：45～

場所：3階 講堂

テーマ 「関節拘縮に対するリハビリ」

講師 理学療法士 愛場 友恵

日頃ケアしている患者さんの褥瘡について
検討を希望される方は、褥瘡部の写真を3
日前までにふれあい地域医療センターまで
お送り下さるか、当日ご持参ください。

8 . NST学習会

日時：1月31日（月）18：00～19：00

場所：講堂

テーマ 「誤嚥性肺炎について」

講師 呼吸器内科医師 山本宏樹

9 . 看護研修

《衛星研修SQUE Eナース》

日時：1月5日（水） 18：00～19：20

場所：講堂

テーマ 「代表的検査データの読み方」 基礎

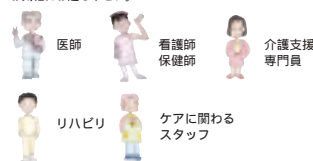
日時：1月19日（水） 18：00～19：20

場所：講堂

テーマ 「医学的診断のHOW TO
～ 医師は病気をこうとらえている～」

応用

研修の横に対象となる職種マークをつけました。
お気軽にお越し下さい。



病院ボランティア
篠崎 佳子

《連載企画》 診療所・病院・施設訪問 69 友愛温泉病院

今回は「友愛温泉病院」を訪問させていただきました。

名 称	友愛温泉病院
住 所	富山市婦中町新町2131
医 師	木越 俊和 先生（理事長・院長）
病 床 数	300床 ・一般病床 20床 ・療養病床 280床
診 療 科	内科・リハビリテーション科
施 設 区 分	介護療養型医療施設

訪問記



木越理事長先生



友愛温泉病院スタッフの皆様



友愛温泉病院前景

みぞれまじりの小雨がちらつく12月半ば、「友愛温泉病院」に訪問させていただきました。国道359号を走ると20分程度で到着し、あいにくの空模様にも関わらず、木越俊和理事長はじめ職員の方に笑顔で迎えていただきました。

まず、理事長から病院の特色と現在の取り組みについてお話いただきました。

友愛温泉病院は、療養病床280床（介護保険適用病床120床、医療保険適用病床160床）で、特色として理学療法士や作業療法士による定期的なリハビリを実施しており、この活動によって、要介護度が改善したり、医師や看護師等の取り組みで経口摂取が困難であった方が経口摂取できるまでになったりするなど効果が表われているとのこと。理事長は、「口から食べたいという方にできるだけ口から食べられるよう試みたい。そのためには、言語聴覚士を採用し、嚥下評価やリハビリも取り入れたい」と意欲的に語っていらっしゃいました。

その他の特色として、クラブ活動が盛んだとお伺いしました。訪問時にも音楽クラブによる演奏が行われており、懐かしい童謡が病院の中に響き渡っていました。また、温泉に入浴できるのも大きな特徴であり、炭谷総看護師長の「年末年始でも週2回は入浴していただいています」とのお話からも療養生活を満足していただけるように心掛けておられることがよくわかりました。

お話を伺う中で、リハビリを行い介護度が改善しても、家族から「自宅への受入れが難しい」「要介護度が軽くなると困る」と言われることもあり、職員の方も困惑し葛藤していると正直な胸の内も語っていただきました。地域完結型医療をすすめていく中で家族教育を行い、スタッフのモチベーションが下がらないようスタッフ教育も必要だと考えていると今後の抱負もお話いただきました。

理事長やスタッフの方々に温かく迎えていただき、貴重なお話を聞かせていただきました。大変お忙しい中、訪問させていただきました。ありがとうございました。

平成22年度第2回骨折ネットワークとやまの報告

今年度より運用開始となった県内統一パス「とやま 大腿骨頸部・転子部骨折地域連携パス」の地域連携パス会議が、12月6日（月）18時30分より当院講堂において開催されました。

第1回目の会議で、会の名称が「骨折ネットワークとやま」に決定され、2回目となる今回の会は、当院が当番幹事病院となり24医療機関から医師6名、看護師42名、理学療法士27名、作業療法士3名、医療ソーシャルワーカー11名を含む94名の参加がありました。

会では、パス使用にあたっての意見や各施設のパス使用状況についての報告があり、続いて「大腿骨頸部・転子部骨折後の新たな骨折について」と題して、当院整形外科・関節再建外科部長 澤口 毅医師の講演がありました。講演では、骨折を起こさないためには、骨粗鬆症の治療が重要であることを再認識させられました。また全体を通して、地域での医療サービス向上や関係する諸機関との連携強化にはパスの充実もさることながら、顔を合わせての情報交換や研修を行うこのような会の重要性をあらためて強く感じました。



病理解剖物故者慰霊祭が執り行われました

第11回富山市民病院病理解剖物故者慰霊祭が、11月25日（木）15時から、3階講堂において執り行われました。

慰霊祭は、富山市民病院において医学発展のため病理解剖に献体下さいました方々のご遺徳に対して、感謝を捧げ、ご冥福をお祈りするために行っているもので、4年に一度執り行われています。

今回は平成18年10月から平成22年10月までに、病理解剖のために御遺体を委ねて下さいました45名の方々が対象で、ご遺族と病院関係者約80名が出席し、ご冥福をお祈りいたしました。



富山市民病院 地域連携開放型病床 講演会・懇親会のご案内

下記の予定で地域医療連携開放型病床講演会・懇親会を開催いたします。一年に一度登録医の先生方と当院の医師や看護師、メディカルスタッフとの意見交換を身近に行える機会として、職員一同楽しみにしております。登録医の先生方には別途ご案内いたしますが、是非お越しいただきますよう、お願い申し上げます。

日 時：平成23年2月25日（金）19：30～
場 所：ANAクラウンプラザホテル富山



病院ボランティア
篠崎 佳子

がん地域連携クリティカルパス

呼吸器内科・腫瘍内科 石浦 嘉久

地域のかかりつけの先生方と連携しながらがん患者の療養生活を支えるため、肺がんや胃がんなど5大がんを対象に共通の診療計画表「がん地域連携クリティカルパス」が稼働します。これにより、パスによって患者さんの情報をお互いに共有しながら精密検査を当院で行い、定期的な診察はかかりつけの先生方へと役割分担を進めることが期待されています。

ご存知のごとく、がんは死因のトップを占め、県内では年間3千人余りががんで死亡しています。特に患者の多い肺・胃・肝・大腸・乳房の5大がんに対して、患者さんが退院後も同じ方針で治療を受けられるための連携パスを整備するよう、国から各がん拠点病院に要請がありました。このため県医師会の先生方と県内の拠点病院の医師との共同作業により作成したのが、この「がん地域連携クリティカルパス」です。

冊子になっているパスには5年間の診療計画をはじめ、患者さんの基本情報やかかりつけの先生方と当院の医師で分担する診療・検査内容、日常生活の留意点などが書かれています。基本的には手術や抗がん剤など一定の治療を終え、経過観察が必要な患者さんを対象とし、かかりつけの先生方を受診する際にパスを持参していただく形式となっています。



パスを使った病診連携では、当院が種々の精密検査を担当し、かかりつけの先生方に定期的な診察や血液検査や薬の処方などを行っていただくことになります。患者さんにとっては、年に数回の当院の受診以外は近くのかかりつけの先生方での診療を受けられるため、通院を含めた多くの負担が軽減されると期待されます。

よりよいがん診療のため、先生方のお力添えをいただきたいと思います。



がん地域連携クリティカルパスポスター



ふれあい地域医療センターからのお知らせ

先月号にも掲載いたしましたが、年末年始のふれあい地域医療センターについては以下の通りです。診察や検査の予約受付に対応いたしますのでお気軽にご連絡ください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ・ 12月27日(月) | 通常通り(8時30分～19時) |
| ・ 12月28日(火) | 通常通り(8時30分～19時) |
| ・ 12月29日(水)～1月3日(月) | 休み |
| ・ 1月4日(火) | 通常通り(8時30分～19時) |

なお、救急患者さんに関しては、直接救急センターへご連絡ください。

NST学習会

「寝たきりの方への口腔ケア」を開催して

歯科衛生士 吉松 由美子

平成22年11月29日（月）18時より「寝たきりの方への口腔ケア」をテーマに学習会を開催いたしました。院外から9名院内より24名と合計33名の参加がありました。

病気や老衰、けが等で日常生活のほとんどを臥床状態にある人は、唾液分泌が少なく自浄作用の低下や口腔乾燥により様々な弊害が出現し、感染症を発症しやすい状態になっています。そのような状態を防ぐためにも適切な口腔ケアと保湿が必要となります。



既に口腔ケアの重要性と必要性は十分に認識されていますが、実際にチーム医療の中で口腔ケアを行うには、多職種の方の理解と協力、連携が大切です。

質疑応答では、「口の中の出血時には、どのように対処したらよいか?」「開口してくれない患者さんへの対応はどうすればよいのか?」など、日頃感じている疑問や不安な点について意見交換がなされました。今回の学習会が参加者の方々のスキルアップになればと思っております。

「第1回心臓病教室」を開催して

平成22年11月27日（土）10時より当院講堂において「第1回心臓病教室」を開催いたしました。一般の方と入院中の患者さん、合わせて26名の参加がありました。

6月号でもお知らせしてまいりましたように情報発信をすすめていくことを目的として、医師・臨床検査技師・管理栄養士・理学療法士・看護師がそれぞれの専門分野についてお話をいたしました。その後、AEDを用いた救急蘇生研修・体験コーナーと健康・栄養相談コーナーを設け、自由に参加していただきました。不慣れな点もありましたが、参加された方々から「日頃の食事についての細かな疑問や不安が解決した」「AEDの使い方がわかった」など直接話を聞くことができ、とても実りのある2時間となりました。



第2回心臓病教室の開催も準備中ですので、一般参加者以外にも地域のスタッフの方のご参加をお待ちしています。

がんと子どもを守る会から当院の小児科病棟へ文房具やぬいぐるみのプレゼントをいただきました。クリスマスをお祝いする子どもたちには、思いがけないプレゼントとなりました。ありがとうございました。



医師不在のお知らせ

外来担当日の休診のみ掲載

1月分

科名	不在日	医師名	科名	不在日	医師名
内科	28日	蓑内	眼科	28日	山田
	14日	泉谷	泌尿器科	28日	元井
	12日・13日・14日	清水	形成外科	27日・28日	置塩
	17日・18日		小児外科	11日・31日	岡田
整形外科・関節再建外科	7日	澤口		31日	山崎
	12日	加藤			

その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。



認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ



整形外科看護 エキスパートナース編

私たち整形外科エキスパートナース4名は、骨折などで痛みを耐えながらベッドで過ごす患者さんや関節の変形などで自由に身体を動かすことが出来ない患者さんなどを対象に、主に病棟で活動しています。手術後痛くてなかなか自由に動くことが出来ない患者さんと共にリハビリを進め、失った運動機能を最大限に生かすためにいろいろな工夫した道具の利用や、補助具を使いながら「その人がその人らしく」過ごすことができるよう新しい生活様式を患者さんやご家族と共に考えています。



また、人工関節手術を受ける患者さんに対して入院前よりT K A (人工膝関節置換術) T H A (人工股関節置換術)手術前小集団教室を開き、不安なく入院・手術が受けられるようにサポートしています。入院前は痛みや活動制限のために日常生活を十分に過ごすことができなかつた患者さんが手術そしてリハビリを行い、泣き顔だった患者さんの顔がいつのまにか素敵な笑顔になり元気に歩いて退院される姿をみると、私たちの方が逆に励まされることが多くあります。



その人がその人らしい生活を送れるために援助できることを誇りに思い、今後も整形外科エキスパートナースとして活動していきたいと思っています。

編集後記

寒さも身にしみ、ようやく熊の冬眠する頃となりました(ほっと、一安心)。4月にふれあい地域医療センターに赴任し早8ヶ月が過ぎようとしています。毎日が慌しく過ぎていく中、少しでも受診される患者さんがスムーズに診察を終えられるようにと努力してまいりました。今年は、“5大がん地域連携パス”も稼働いたしました。地域医療機関の先生方には、今後とも多くの連携をいただけますよう、精進していく所存ですのでよろしくお願ひいたします。

ふれあい地域医療センター 石崎 華代



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/>
がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp